

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	新都心地区民間企業のペット同行避難調査及び「人とペットの防災カレッジ」による人材育成事業
2 実施期間	2022年 8月 ~ 2023年 2月
	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、実施時期）</p> <p>【調査1】(10月～2月) 下記の新都心地区の民間企業・指定避難所にて、電話や文書を郵送、対面にてペット同行避難に関する聞き取り調査を行なった。→資料添付あり</p> <p>・フレッシュプラザユニオン古島店・ダウンプラザかねひで古島店・サンエー那覇メインプレス・ヤマダ電機・ペットボックス 那覇店・コジマ×ビッグカメラ・マックスバリュ安謝店・jimmy 那覇店・(株)レキオス・(株)レキオスアセットマネージメント・(株)ビージーエム沖縄・(有)アイ・ステーション・(有)福寿産業・一般社団法人おきなわ芸術文化の箱・那覇国際高校・興南高校・銘苅小学校・天久小学校・安謝小学校・安岡中学校</p> <p>その他、新都心通り会理事会にて参加企業（10社程度）の皆様に対して趣旨説明をし協力依頼を行った。</p> <p>【実践1】(2/12.13) 現在那覇市内で唯一ペット同行避難可能な那覇市役所本庁舎駐車場及び那覇市民協働プラザ駐車場や施設を富士岡剛氏をアドバイザーに迎え那覇市職員と共に検証した。</p>

<p>3 事業内容</p>	<p><b>【実践2】 「人とペットの防災カレッジ」開講</b></p> <p>11/5 那覇市総合防災訓練にてペット同行避難で参加  11/12 災害時に役立つもの作り  11/13 猫専科（オンライン）  12/10 非常時の人とペットの食事  1/15心と身体のスเตรスケア&amp;ペットの救命救急  1/29 Dayキャンプwithわんわん(28日防災キャンプに参加)  2/12ペット防災セミナー（一般向け）  2/13ペット防災セミナー（行政・自治体・企業向け）</p> <p><b>【実践3】 ペット防災オンライン座談会開催</b>  2/27に防災セミナー参加者対象に第1回ペット防災座談会を実施。那覇市防災危機管理課・環境衛生課も参加。  今後定期開催予定</p> <p><b>【実践4】</b>  常時着用型迷子札・PET IN HOUSE ステッカー販売  イベントやセミナー時に随時紹介し、購入してもらった。</p> <p><b>【実践5】 地域住民への広報活動と活動に関する情報提供</b>  (随時)毎週金曜日のFMなは「Okinawa B-camp」にてペット防災についての話題を提供した。  SNSで随時有効な情報を周知した。  那覇市公園管理課の許可を得て、新都心地区の自治会掲示板に「犬の散歩時のマナーについて」の啓発ポスターを掲示した。</p> <p>②事業の周知方法  (随時)毎週金曜日のFMなは「Okinawa B-camp」・わかさ防災教室・安謝川防災大学・銘苅小学校区まちづくり協議会・那覇市広報などその他SNSにて周知した。  また、新都心地区自治会の掲示板にポスターを掲示して周知した。</p>
---------------	---

<p>4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)</p>	<p>1 新都心地区民間企業のペット同行避難調査 新都心地区の民間企業や指定避難所への聞き取りが現在挙げている24箇所以上できて、ペット同行避難の必要性を理解さらに、それを行政にも提言する。</p> <p>2 「人とペットの防災カレッジ」による人材育成事業 2月のペット防災セミナー以外の防災カレッジのべ参加人数が50人以上。 防災セミナー参加者が50名以上。</p>
<p>5 上記4の数値目標の達成度</p>	<p>1 新都心地区民間企業のペット同行避難調査 聞き取り調査依頼は、34箇所くらい（新都心通り会参加の企業が特定できず）行なった。 その内アンケート回収は2/28現在10箇所からあり。 達成率は140%以上。アンケートに関しては今後も受け付ける。この事業報告をもって関係部署に提言する。追加があった場合は今後も定期座談会にて報告する。</p> <p>2 「人とペットの防災カレッジ」による人材育成事業 ペット防災セミナー以外のカレッジ参加者はのべ39人 達成率は78%。</p> <p>2日間の防災セミナー参加者は、オンラインとリアル参加者含めて76名、達成率は152%。</p>

<p>6 事業の成果</p>	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <p>1 新都心地区民間企業のペット同行避難調査</p> <p>新都心通り会を通したり、電話や対面で広く民間企業に活動内容を周知できたこと、ペット同行避難の実態を説明できたことは、その企業にとっても今後何か貢献できることがあるかもしれないという気づきになったと思う。</p> <p>敷地内でペット同行避難受け入れ可能と表明してくれた企業があるというのも大きな成果であった。</p> <p>また、指定避難所である学校は直接出向いて、教頭先生や校長先生とお話しすることができ、ペット同行避難について考えてもらう啓発になった。今後更なる現地調査などができれば、ゾーニングなどの工夫次第で受け入れ可能と判断してもらう材料になると思う。</p> <p>那覇市役所本庁舎駐車場及び那覇市民協働プラザ駐車場や施設を富士岡剛氏をアドバイザーに迎え那覇市職員と共に検証できたことが、今後のペット同行避難の枠組み作りに貢献できた。</p> <p>2 『人とペットの防災カレッジ』による人材育成事業</p> <p>6回のカレッジを新都心公園や市民協働プラザピロティで行うことで、通行人の目にも触れることで適正飼育に向けての事業をアピールすることだできた。</p> <p>特に、2回の防災セミナーでは、全国から参加者がいた。セミナー後のアンケートでも満足度が高く、今後も『ペット防災座談会』という形で継続したいという意見もあり、2/27に第1回目を開催することができた。</p> <p>今回は参加者は少なかったが、那覇市防災危機管理課と環境衛生課も参加してくださり、有意義な会となった。災害時に困らない為には普段から顔の見える関係を築いておくことが重要なので、この座談会は継続していく。それがゆくゆくはペット同行避難の枠組みを作ることになり、災害弱者とも言えるペット飼育者の助けになる。</p>
----------------	---

<p>7 評価</p>	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <p>1 新都心地区民間企業のペット同行避難調査 実際に調査に伺ったり依頼したりすることで、顔の見える関係ができた。わかりやすくシンプルなアンケート内容にした。</p> <p>2 『人とペットの防災カレッジ』による人材育成事業 それぞれのカリキュラムを1時間と短時間にしたことで、犬連れで参加する時は飽きずに集中できた。 ペット防災セミナーはリアル参加だけでなくオンライン参加も可能にしたことで、今後のネットワークづくりに繋がった。</p> <p>② 苦労したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <p>1 新都心地区民間企業のペット同行避難調査 民間企業に関しては、その店舗や事業所以外に本社がある場合は、やはり本社の判断となり、調査をするのに時間を要したり困難だった。まだ、回答いただけていないところは、もう一度お願いしてみる。</p> <p>2 『人とペットの防災カレッジ』による人材育成事業 11月から2月まで全8回の内容だったが、継続するには少し長かったと思われる。今後は単発にするか、もう少し内容を絞って開催する。</p>
<p>8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新都心地区の民間企業のペット同行避難調査に関しては、アンケート未回答の企業や避難所があるので、引き続き調査は継続していく。</li> <li>・ペット防災セミナーは毎年富士岡氏を講師に招き、実施していく。</li> <li>・ペット防災座談会も定期的に行なっていく。</li> </ul>

